

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	1年	2単位	必修
担当教員			
富場 康・小嶋 栄子			

講義概要	大学の授業では、多くのレポート・論文が課される。本授業では、レポート・論文とは何かという基本的事項をしるところから始め、実際の作業を通じて、最終的にレポート・論文が書けるようになることを目指す。また、レポート・論文の執筆を学ぶことで、社会に通じる基本的能力も身に付けることも念頭におく。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 授業の進め方、目標、評価方法等の説明 作文力テスト</p> <p>復習：授業の意義の確認 予習：次のテキスト範囲を読んでおく</p> <p>2 レポートとは何か 文章にはさまざまな種類があることを知る。 レポート・論文を書くための基本ルールを押さえる。</p> <p>復習：基本ルールの確認およびノート整理 予習：次のテキスト範囲を読んでおく</p> <p>3 レポート・論文のルール① 引用および著作権について学ぶ</p> <p>復習：引用と著作権の確認およびノート整理 予習：次のテキスト範囲を読んでおく</p> <p>4 レポート・論文のルール② 参考文献リストについて学ぶ</p> <p>復習：参考文献リストの確認およびノート整理 予習：次のテキスト範囲を読んでおく</p> <p>5 レポート・論文の種類を知ろう レポート・論文の種類を知る 報告型レポート、ブックレポート、論文の基本形を学ぶ</p> <p>復習：さまざまな基本形の確認およびノート整理 予習：次のテキスト範囲を読み、報告型レポートのテーマを考えておく</p> <p>6 報告型レポートを書いてみよう 報告型レポートを実際を書く</p> <p>復習：報告型レポートの読み返しおよびノート整理 予習：次のテキスト範囲を読み、ブックレポートのテーマを考えておく</p> <p>7 ブックレポートを書いてみよう ブックレポートを実際を書く</p> <p>復習：ブックレポートの読み返しおよびノート整理 予習：次のテキスト範囲を読んでおく</p> <p>8 発想力をつけよう レポート・論文に求められる思考の重要性について学ぶ</p> <p>復習：さまざまな思考パターンの振り返りおよびノート整理 予習：次のテキスト範囲を読んでおく</p> <p>9 読解力をつけよう 文献の読み方を学ぶ</p> <p>復習：文献の読み方の振り返りおよびノート整理 予習：次のテキスト範囲を読んでおく</p> <p>10 要約力をつけよう 要約文の書き方を学ぶ</p> <p>復習：要約の仕組みの振り返りおよびノート整理 予習：次のテキスト範囲を読んでおく</p> <p>11 要約のしくみを新聞から学ぼう 新聞を教材として要約のしかたを学ぶ</p> <p>復習：要約のしかたの振り返りおよびノート整理 レポート・論文の種類を知る 報告型レポート、ブックレポート、論文の基本形を学ぶ</p> <p>復習：さまざまな基本形の確認およびノート整理 予習：次のテキスト範囲を読み、報告型レポートのテーマを考えておく</p> <p>12 批判的思考力をつけよう</p>

	<p>批判的思考（クリティカルシンキング）のさまざまなパターンを学ぶ</p> <p>1 3  復習：批判的思考のパターンの振り返りおよびノート整理  予習：次回のテキスト範囲を読んでおく  表現力をつけよう  事実と意見の違いを学ぶ  意見をまとめる練習をする</p> <p>1 4  復習：意見のまとめ方の振り返りおよびノート整理  予習：次回のテキスト範囲を読んでおく  レポート論文の実際①  レポート・論文の表現法・言葉遣いについて学ぶ</p> <p>1 5  復習：表現法・言葉遣いの確認およびノート整理  予習：次回のテキスト範囲を読んでおく  レポート・論文の実際②  レポート・論文の文体について学ぶ</p> <p>復習：文体の確認およびノート整理  予習：単位取得レポートの準備</p>
授業形態	講義
到達目標	①レポート・論文とは何かについての基本的事項を知る。 ②レポート・論文に求められる基本的な発想力を身につける。 ③レポート・論文に求められる基本的な要約力を身につける。 ④レポート・論文に求められる基本的な批判的思考力を身につける。 ⑤社会で必要とされる基本的なレポート・論文の書き方を身につける。
評価方法	授業中の小テストと評価期間時の提出レポート
評価基準	授業態度および授業への意欲 40% 小テスト 20% レポート 60%
教科書・参考書	授業で指示します。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	毎週火曜日16:30-18:00
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	1年	2単位	必修
担当教員			
章 潔			

講義概要	<p>本授業は、日本語で文章を書く力を養うためのものである。日常生活で、字を書く機会がだんだん少なくなり、電話で簡単に用事を済ませることが多くなってきているが、字を書くことが不要になることは不可欠であるし、会話とは別の次元で、人との交流が深まり、生活がより楽しくなる。</p> <p>本授業は、日本語の初級の終わりから中級の留学生を対象とし、毎日の生活にすぐ役立つことを目的とする。日本語の学習者にとって必要な原稿用紙の書き方、はがきや手紙を書くときの注意点などについて説明する。作文の書き方という面からだけではなく、書くことを通して日本の社会や文化を知ってほしい。</p>
授業計画	<p>1 日本語を書くときの注意点 学習課題 復習：「です・ます」と「だ・である」 予習：日本語を書くときの注意点</p> <p>① 原稿用紙の使い方 ② 敬語 ③ 文体</p> <p>2 モメを書く 学習課題 復習：日本語を書くときの注意点 予習：モメを書く</p> <p>① 電話のメモ ② 訪ねた相手がいなかったときのメモ ③ 注意書きのメモ ④ 通知・案内のメモ ⑤ 簡条書きのメモ ⑥ 以来のメモ</p> <p>3 伝言板・掲示板に書く 学習課題 復習：メモを書く 予習：伝言板・掲示板に書く</p> <p>① 伝言板に書く ② 掲示板に書く</p> <p>4 はがきを書く 学習課題 復習：伝言板・掲示板に書く 予習：はがきを書く</p> <p>① 住所やあて名の書き方 ② 近況報告のはがき ③ はがきでお礼を言う</p> <p>5 いろいろなはがき 学習課題 復習：はがきを書く 予習：いろいろなはがき</p> <p>① 絵はがき ② 暑中見舞い・残暑見舞いなど ③ 住所変更のはがき ④ 往復はがき</p> <p>6 手紙を書く 学習課題 復習：いろいろなはがき 予習：手紙を書く</p> <p>① あて名の書き方 ② あいさつの言葉 ③ 手紙の形式 ④ お礼の手紙 ⑤ 依頼の手紙</p> <p>7 年賀状・カードを書く 学習課題 復習：手紙を書く 予習：年賀状・カードを書く</p> <p>① クリスマスカード ② 年賀状 ③ 誕生日カード ④ お礼のカード ⑤ お見舞いのカード</p> <p>8 いろいろな書式 学習課題 復習：年賀状・カードを書く 予習：いろいろな書式</p>

	<p>① 国内・海外へ小包を送るとき ② 現金書留 ③ 返信用の封筒やはがき ④ 履歴書の書き方 壁新聞に書く 学習課題 復習：いろいろな書式 予習：壁新聞に書く</p> <p>① 文書は「である体」を使う ② 文末表現の例 ③ 印象的な見出し語を選ぶ スピーチの原稿を書く① 学習課題 復習：壁新聞に書く 予習：スピーチの原稿を書く</p> <p>① アイディアを書く ② キーワードを並べる ③ 構成を考える ④ スピーチの原稿を書く スピーチの原稿を書く② 学習課題 復習：スピーチの原稿を書く① 予習：スピーチの原稿を書く</p> <p>① アイディアを書く ② キーワードを並べる ③ 構成を考える ④ スピーチの原稿を書く 日記を書く 学習課題 復習：スピーチの原稿を書く② 予習：日記を書く</p> <p>① 日付 ② 文体 ③ 内容 人や場所を紹介する 学習課題 復習：日記を書く 予習：人や場所を紹介する</p> <p>① 日本に行く人を紹介する ② 場所を紹介する 身近なことを書く 学習課題 復習：人や場所を紹介する 予習：身近なことを書く</p> <p>① 作文を書く手順 ② 接続詞を効果的に使うよう心がける 意見・感想を述べる 学習課題 復習：身近なことを書く 予習：意見・感想を述べる</p> <p>① 日本の印象を述べる ② 日本語を勉強している理由を述べる</p>
授業形態	講義
到達目標	<p>① 自分の意見・感想を日本語で書くことができる。 ② 日本語で手紙・はがきをかくことができる。 ③ 日本語で簡単なスピーチを書くことができる。 ④ 日本社会における基本的なアカデミックライティングの重要性を知り、その用語及び所作を知る。 ⑤ 日本のビジネス全体に通用する基本的な日本語を身につける。</p>
評価方法	授業中の学習態度・意欲、定期試験の結果によって総合的に評価する。
評価基準	授業態度・授業への参加30%、宿題・授業外レポート30%、定期試験40%。
教科書・参考書	教科書：『らくらく日本語ライティング』、田口雅子、アルク。
履修条件	平成28年度以降の入学者（留学生）。
履修上の注意	辞書、筆記道具、ノートを必ず持参すること。
オフィスアワー	授業以外の時間（9時から17時までの間）ならいつでも気軽に訪ねてください。
備考・メッセージ	文法や漢字の間違いをあまり気にしないでください。気楽にペンを持って、どんどん書いてみてください。たくさん書いているうちに、楽に書けるようになるでしょう。